

## 2月市議会定例会

### 一般質問

3月8日(火)から3月10日(木)の3日間の日程で、12人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

### 3月8日(火)

自民クラブ(代表質問)  
仙波憲一議員(40分)



#### (1) 脱炭素社会の実現について

**問** 非効率な石炭火力発電所のフェードアウトについて、国が規制措置の導入や早期退出を考えているが、住友各社に電力を供給する住友共同電力に対して市としての対応はどうか。

**答** 住友共同電力は、石炭と比べて二酸化炭素排出削減効果のあるLNGを燃料とした、新居浜火力発電所を建設中で、いち早く脱炭素社会に向けた取り組みを進めている。市としても国の動向を注視しつつ、市内企業の脱炭素化に向けた取り組み

を支援する施策などを推進していく。

#### (2) デジタルトランスフォーメーションの戦略的取組について

① マイナンバーカードを利用した手続の取組状況

**問** デジタルトランスフォーメーション(DX)の進め方は戦略的改善型に大別されるが、新居浜市としての考え方は、どの方法を考えて進めようとしているか考えを伺う。

**答** 戦略的DXと改善型DXを実現するためには、組織や社会での全体的な対応が求められるため、指針となる新居浜市DX推進計画を策定し、DXを推進している。今後もデジタル技術の活用により新たな価値を創造することを目指して、DXを推進していく。

② デジタル人材の育成とデジタルツールの活用

#### (3) 行政事務の見直しについて

① さらに民間活力の活用  
② 契約事務の効率化  
③ 新たなまちづくり

公明党議員団(代表質問)  
藤原雅彦議員(40分)



#### (1) 施政方針について

**問** 新居浜市市民文化センター

の建て替えならびに総合運動公園の建設に向け、建設費や維持管理費の財源確保について、現時点でどのように考えているのか、伺う。

**答** PFIなど新たな整備手法の導入や施設の複合化、補助金交付金、より有利な市債の活用など財政負担の軽減、平準化を図る手法を調査研究していく。施設の規模や機能についても、20〜30年後の市の人口や年齢構成、維持管理経費などを想定し、将来世代に過大な負担を残さない形での施設整備を進める。

#### (2) 新型コロナウイルス接種について

**問** ごみ減量をスパー、ドラッグストアなどの事業者の皆様にご協力をさせていただきようと思いがご所見を伺う。

**答** 現在、多くのスパーでは空き缶や食品トレーなどの店頭回収による資源化などを行っており、ドラッグストアに対しても同様の協力をお願いしている。また、ごみ減量化や資源化に対する協力店舗の登録制度を進めるとともに、市民に広く利用を呼びかけるなど、ごみ減量

の推進に取り組んでいく。

#### (4) がん検診について

#### (5) インクルーシブ公園について

#### (6) デジタル田園都市について

#### (7) 災害時の車中泊避難について

新居浜の未来を考える会  
(代表質問)  
米谷和之議員(40分)



(1) 市民の足となる公共交通について

#### ① 現状と課題

**問** 多数の高齢者などが利用しているおでかけタクシーが川西地区で利用できないのは公平さを大きく欠いているのではないか。

**答** 川西地区においても一部バス交通空白地帯が存在し、デマンド交通の導入を求める声が多くあることは認識している。公共交通の見直しの中で、新たな公共交通の導入に向けた協議をしており、早期の実現に向けて取り組みを進めたい。

#### ② 地域公共交通計画の策定

**問** 令和3年度には7千500万円にもなった路線バス赤字補填を、乗客増への助成金として活用してはどうか。

**答** デマンド交通を導入した経緯なども踏まえながら、地域公共交通活性化協議会の中で十分

3月9日(水)

新居浜の未来を考える会  
篠原茂議員 (30分)



な議論をした上で決定していきたいと考えている。

(1) コロナ禍による第六次長期総合計画への影響について

① 財政面、実現性から見た計画への影響

**問** 計画の推進のため、当初あるいは補正予算で予算化した事業について、コロナ禍における感染防止などのために、中止または縮小を強いられた事業があるか。

**答** 令和2年度は、総合文化施設開館5周年記念事業費、観光事業推進費などの計31事業、令和3年度は、インバウンド観光推進費、ホストタウン交流促進事業費などの計11事業が中止または縮小を強いられた。

② 市民文化センター建て替え

③ 企業留置

④ 住民自治について

**問** ① ごみ減量  
ごみ減量化を進めるには、3Rやりサイクル率の向上が必要である。市民自らがごみ問題について、主体的に取り組むこ

とができる常設の研修施設など拠点を作ることができないか。

**答** これまで生ごみ処理容器設置補助、資源ごみ集団回収などに取り組んでいるほか、出前講座、にいはま環境市民会議と協働して段ボールコンポストの講習などを開催している。今後もこうした取り組みを通じ、市民のごみ問題に対する主体的な取り組みを支援していきたいと考えており、拠点づくりについては先進事例などを調査研究していく。

② ごみステーション適正管理推進交付金

③ 自治会広報塔

④ 今後の自治会

⑤ コミュニティ・スクールについて

① 学校運営協議会

② コーディネーター

自民クラブ

田達 秀道議員 (30分)



(1) ごみ問題について

(2) 魅力あるまちづくりについて

① 定住人口拡大への取組

② 工業用地の確保

(3) 離島振興について

① 交通の確保

② 医療の確保

③ 福祉の増進

④ 地域文化の振興

⑤ 観光振興及び地域間交流の促進

⑥ 農林水産業その他の産業の振興

⑦ エネルギー対策の推進と防災対策の推進

(4) 防災士について

① 防災士の現況

② 防災士ネットワークへの支援

**問** 防災士ネットワークが自主自発的に活動内容を企画立案し、それぞれの地域において活発な活動展開を図るため、現事業を見直すことで活動費の捻出ができないか。

**答** 新居浜防災士ネットワークに対し、防災士一人一人のスキルアップを図るための研修の実施に加え、各種訓練の実施に関する業務を委託することにより支援していく。

(5) 公共施設について

① 再編計画と長寿命化

**問** 将来世代に負担を残さないよう、公共施設再編計画策定時には、年間14億3千300万円の削減数値目標を掲げられたが、この3年間でどのくらいの歳出削減ができたのか。

**答** 計画策定後、これまでに銅

山の里自然の家や東新学園などについて、計画に基づく施設の廃止や民間譲渡を行っている。それらの施設については、維持管理、運営を続け、標準的なタ

イミングで大規模改修や更新を行った場合、計画期間の40年間で合計約19億4千700万円の費用がかかる試算となっていたため、廃止などによりその金額が削減できたと考えている。

② 採算性

無党派

小野 志保議員 (10分)



(1) 動物愛護について

① 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金

② 犬猫の里親探し

③ 命の授業

④ マイクロチップの現状と啓発

⑤ 地域猫の方向性

自民クラブ

白川 誉議員 (30分)



(1) 鳥インフルエンザについて

(2) 県と市の関係性について

① コロナ対策の権限と支援策

② 税の三原則、公平、中立、簡素

問

公平、中立、簡素の税の三原則、市単独財源を鑑みて、現

在は同時受給不可のえひめ版応援金の同時受給を可能とした事業復活支援金の上乗せ支給の実施を県へ提案できないか。

**答** えひめ版応援金については、県が一定の整理をした上で実施されているものと考えているため、支給条件の変更に ついて市として要望を行う予定はない。

(3) デジタル化推進の落とし穴について

- ① デジタルが苦手な方への支援
- ② あかがねポイントの位置づけ
- ③ 国への積極的アプローチ

(4) 川西地区の交通弱者対策について

- ① 地域公共交通網形成計画
- ② 分科会設置の進捗
- ③ 寄附文化の推進について

- ① ふるさと納税の用途細分化
- ② 共感者を増やすためのアプローチ

(6) 特別支援学級について

① 教育委員会版人材バンク

**問** 今後増加される見通しが強い特別支援学級の生徒を見据えた対策と、インクルーシブな教育システムの構築に向けた発達支援センターの人材バンク機能の拡充は検討できないか。

**答** 特別支援学級や通級指導教室の教職員の専門性や実践力の向上を目指し、講座や研修を充実させ、各学級で行っている子どもたちの学びに生かせる指導や支援を特別支援コーディネーターを中心に学校全体に広めていく。人材バンク機能については、他市の取り組みなどを参考にしながら調査研究していく。

3月10日(木)

公明党議員団  
高塚広義議員(30分)



(1) 防災行政について

① 避難所開設状況の周知

**問** 大規模災害時は、多くの避難所で混乱が生じる恐れがある。大規模な地震などで緊急避難が必要な場面では、避難所の混雑状況など、市民への多様な情報発信を行うべきでは。

**答** 避難所開設状況はテレビ、ラジオ、ウェブサイトなど、各種媒体で配信している。また、

市公式LINEでは、地図上に降雨量、水位、河川カメラの画像に加え、避難所開設情報の表示が可能であるが、避難所の状況までは表示できない。多種多様な伝達手段を確保し、円滑な避難の一助となる環境整備に努

めていく。

② ドラッグストアとの協定

**問** 大規模災害時における支援の充実や、連携して住民サービス向上を目指すし、市内のドラッグストアとの災害時協定を締結している自治体がある。本市も協定締結を行うべきでは。

**答** 市では災害時における物資提供や施設使用などに関する協定を各事業所と締結し、物資などの確保に努めている。ドラッグストアには、薬品のほか多種多様な物品や駐車場など一時避難が可能なスペースも備わっているため、協定を締結できるよう事業者に協力依頼をしている。

(2) 救急ワークステーションについて

(3) 福祉行政について

- ① 幼児教育・保育の無償化
  - ② 改正障害者差別解消法
  - ③ 帯状疱疹の未然防止
  - ④ 前立腺がん検診
- (4) 小中学校施設のバリアフリー化について

自民クラブ

大條雅久議員(30分)



(1) 愛媛県ごみ処理広域化・集約化計画(案)と新居浜市の関

わりについて

**問** 令和2年の西条ブロック3市合計のごみ排出量は、11万9千t、1人1日1千50g、全国平均より170gも多い。この現状を変えないと将来の目標設定に至らない。いかがお考えか。

**答** ごみ処理広域化・集約化実現可能性調査では、一定のごみ量予測に基づいた施設規模の想定が必要となり、具体的なごみ減量化目標とその根拠に関して3市の調整が必要であると認識していることから、今後、3市協議の場で協議したいと考えている。

(2) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について

(3) 持続可能なまちづくりについて

- ① 地域づくり促進事業
  - ② 移住促進事業と定住促進事業
- 問** 新居浜に生まれ育った若者や市内の高校、高等専門学校で学んだ若者が、そのまま新居浜で家庭を持ち生活し続ける希望を持つように支援する施策にはどのようなものがあるか。

**答** 高校生ソーシャルビジネスコンテストや転入者ウェルカムツアーなどで、地域との結びつき強化と活躍の場の創出を図るとともに、高校生向け合同企業



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

**答** 上位は、泉川小57・4%、  
神郷小57・3%、川東中51・3%、  
中萩中44・7%で、下位は、高  
津小26・7%、金栄小27・8%、  
角野中25・9%、南中28・6%

**問** 学校によって設備の不均衡  
があるべきではないが、小中学  
校それぞれの上位、下位の洋式  
化率と、今後の改修計画は。洋  
式化率が高い学校も改修する  
が、順位付けの根拠は。

**(2) 小中学校トイレの洋式化につ  
いて**

③ 公立保育園の施設改修計画  
及び保育園、幼稚園の再編  
計画

軽減

② 保護者の子育てに係る負担

の実現

① 四国一子育てしやすいまち

ついて

(1) 子ども・子育て支援の充実に

**自民クラブ**  
永易英寿議員 (30分)



説明会や労働環境改善事業など  
により、若者人材の確保や市内  
企業の労働環境向上支援を図る  
ことで、新居浜に生まれ育った  
若者の定住促進に努めている。  
③ 子どもが帰って来なくなる  
まち

啓発を行っていききたい。

**答** 県が条例制定に向けた検討  
を進めているところであるた  
め、その内容と整合を図った上  
で、本市の実情に合った内容の  
ものを適切な時期に制定できる  
よう取り組んでいく。手話通訳  
IOT推進事業は、今年度2月  
末時点で6件の利用があり、手  
話通訳者は28名、要約筆記者は  
14名登録している。市が主催す  
る講演会などには手話通訳、要  
約筆記を活用し、市民に聴覚障  
害について知る機会を増やし、

**(4) 手話言語条例の制定につ  
いて**

普及啓発などの施策は。

ご所見は。手話通訳IOT推進

事業の利用状況、手話通訳者、

要約筆記者の登録者数と今後の

自治

体は条例を制定していないが、

障がい者・福祉の充実に

ついて

であり、長期的な改修計画は多  
額の財源が必要であり、策定に  
は至っていない。統廃合の見込  
みや長寿命化工事の対象となる  
可能性が低く、大規模改修をし  
ていない学校については、ライ  
フラインを維持するため、早め  
にトイレ改修工事を実施してい  
きたい。

6月市議会定例会	
開催日	内容
6月7日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
6月14日(火)	一般質問・予算質疑 仙波 憲一 議員 (30分) 黒田 真徳 議員 (30分) 神野 恭多 議員 (30分)
6月15日(水)	一般質問・予算質疑 伊藤 嘉秀 議員 (30分) 河内 優子 議員 (30分) 合田晋一郎 議員 (30分)
6月16日(木)	一般質問・予算質疑 藤田 誠一 議員 (30分) 井谷 幸恵 議員 (10分) 片平 恵美 議員 (10分) 小野 志保 議員 (10分) 伊藤 優子 議員 (30分)
6月17日(金)	企画教育委員会開催 市民福祉委員会開催
6月20日(月)	経済建設委員会開催
6月23日(木)	委員長報告、討論、採決

**無党派**  
片平 恵美議員 (10分)



(1) 不登校対策について  
① 現状  
② 適応指導教室  
③ サポートルーム

(5) 中心商店街の活性化について  
① 銅夢キッチンを中心とした  
中心商店街の活性化  
② 空き店舗活用事業  
③ 創業支援補助金  
(6) 市公式LINEの活用について  
(7) 今後の成人式について

**無党派**  
井谷 幸恵議員 (10分)



(1) 学校給食センターの一部業務  
委託化について  
① これまでの経緯  
② 懸念されること  
(2) 小学校休業等対応助成金の現  
状と周知方法について

(2) 公的部門（保育等）における  
処遇改善事業の実施について

④ 親の会

議事課 ☎ 65・1321  
FAX 65・1322